

様式3 令和6年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」 ～一人一人の笑顔と感動、歌声あふれ、深く学び合 い、生きる力(夢)をはぐくむ学校～
------------------	---

学校名	新座市立東野小学校
実施日	令和 7年 1月 15日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどの
ように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	A	働き方改革を自分事としてとらえ、様々な取組を行った。新校務システムによる負担軽減や教育課程の変更、教材費・社会科見学等の費用の引落など保護者の理解を得つ、組織的に取り組んだ。	A	働き方改革の視点を持ちながら、柔軟に取り組んでいる。目的をよく考えて組織的に取り組むことができている。メリハリがあり、先生方の現状に合わせて取り組んでいる。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	ゴールや本時で身につけさせたい力は何かということを明確にしたり、振り返りの時間を確保する授業展開を行う中で、指導と評価の一体化を重視して取り組むことができた。教科による差もあるが、ICTの活用も進んできた。	A	ICTを積極的に使用することで、児童が機械に強くなっていると感じる。家庭学習は自分で考えさせるような出し方をしている。学習に向かう態度は個人の差があるが、将来を見据えていくと小さいころから自分で考えていく能力を育てていくのは大切である。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。	B	自分の学級のみだけではなく、校内においては進んであいさつできる児童が増えてきているものの、低学年がなかなか難しい現状にある。引き続き、学校の課題として、褒めながら進めていきたい。	B	コロナウイルス感染症による規制も明けて、以前にないくらいよくできていた時に戻りつつある。地域でのイベントなどでは礼儀正しい姿を見ることができている。学校に訪問する機会があるが、1学期よりもよくなってきている。ただ、児童の言葉遣いが心配である。あいさつだけではなく、言葉遣いに関する指導も必要である。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	A	体育朝会や体育・運動委員会の取組もあって、外遊びをしている児童は昨年度よりも多くなっている。学年でより良い指導法を共有しながら児童の体力向上に向けて取り組んでいく。	A	学校に訪問した際には、業間休みが活気があるように感じる。休み時間に外遊びを中心に行えるようになった子が多い。放課後やココフレンドの時は様々な運動に一生懸命取り組む児童が増えた。先生方がよく外に出て遊んでいる成果が出ている。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。	A	学習における保護者・地域の協力はもちろんだが、学校応援団やガーデナーさんなどのボランティアの方の力も大きく、非常にありがたいと感じる。保護者・地域の意見を取り入れた学校運営を目指す。	S	学校側はボランティアさんへの感謝の気持ちをが多い。地域の行事も学校も協力してくれている。保護者も協力的な方が多く、ボランティアを募集すると来てくれる。応援団として非常に協力的な学校であると感じている。その一方、ボランティアに参加してくれている方の総数が減っている中でどのように広げていくか課題である。